おかげさまで12周年
成瀬ダム工事事務所

2026

人に　まちに　うるおいを・・・。



# 令和8年度業務概要

Ver.2026.11

令和8年9月30日撮影


国土交通省　東北地方整備局
成瀬ダム工事事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Tohoku Regional Development Bureau, Naruse Dam Construction Office

# 目次と更新箇所について

Naruse Dam

【目次】


１．令和８年度事業概要 …… P2

２．成瀬ダム建設事業概要 …… P5

３．成瀬ダム建設事業進捗状況 …… P10

４．地域振興の取組状況 …… P22

５．事務所の組織概要 …… P32

６．参考資料 …… P35


〈業務概要Ver.2026.10からの主な更新箇所〉

・P13～18.成瀬ダム工事進歩状況（10月末の工程写真に差し替え）

・P21.成瀬ダム建設事業における近年の工事等従事者数の推移（10月版のデータに更新）

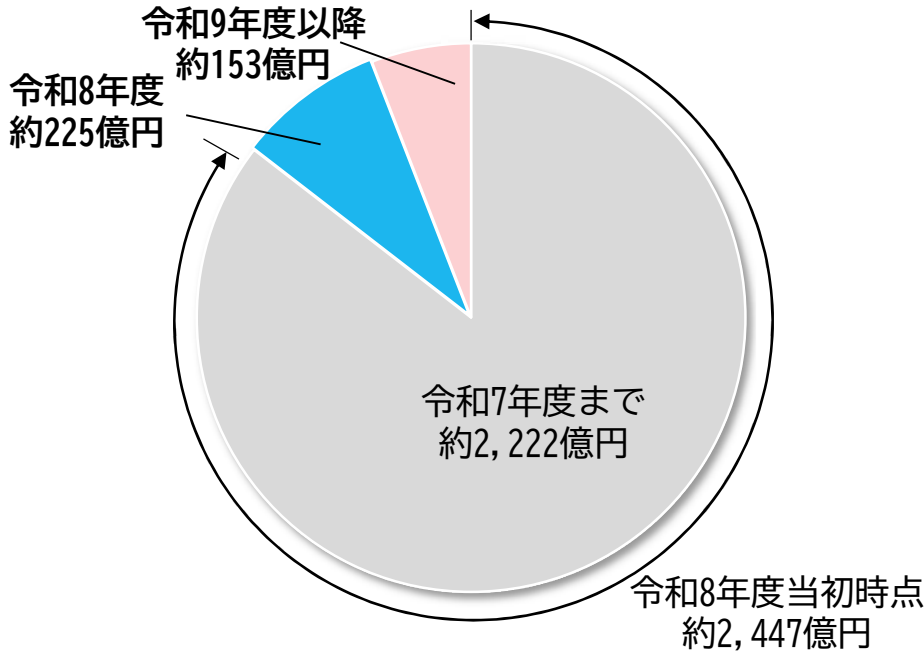
# １．令和８年度事業概要

# 令和8年度　事業概要

Naruse Dam

## 令和8年度予算概要

令和8年度当初予算　約 225億円 （前年度当初比　1．08）




総事業費約2，600億円

（進捗率　約94%　令和8年度当初時点）

## 令和8年度の主な業務

### ①用地調査・取得

■管理設備における用地調査及び協議等

### ②工事関係

■本体建設工事、試験湛水用ゲート設備工事、取水設備工事、
エレベータ設備工事等

### ③調査・設計

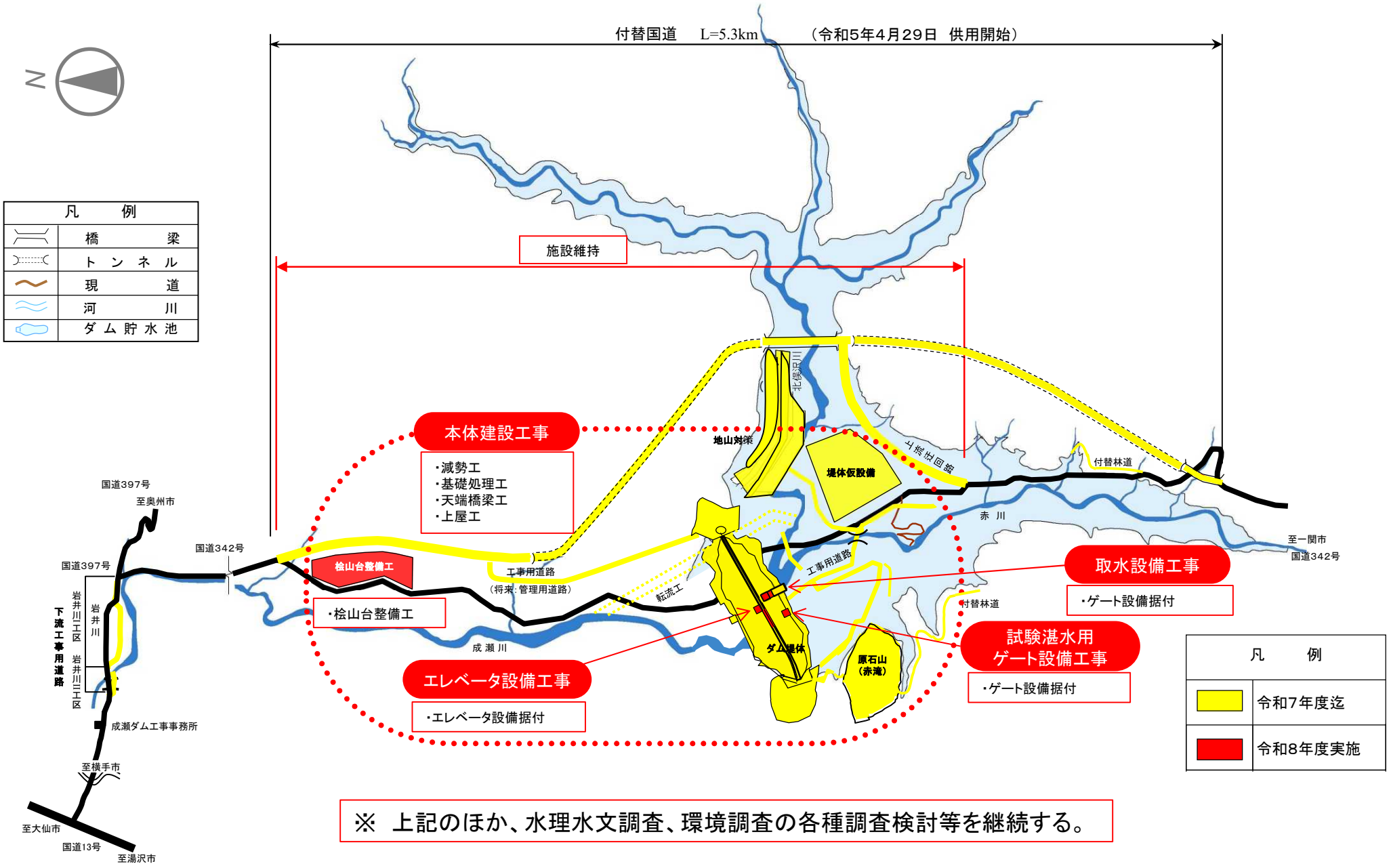
■試験湛水計画検討、観測機器の設計、洪水予測システム設計水理・水文調査、環境調査及び
保全対策、貯水池測量、地すべり観測・自動観測機器設置等

### ④地域振興・広報

■水源地域ビジョンの策定、成瀬ダムを核とした地域活性化の検討

■成瀬ダム建設事業の理解促進、建設業の魅力発信のための広報活動等

# 令和8年度　事業予定箇所



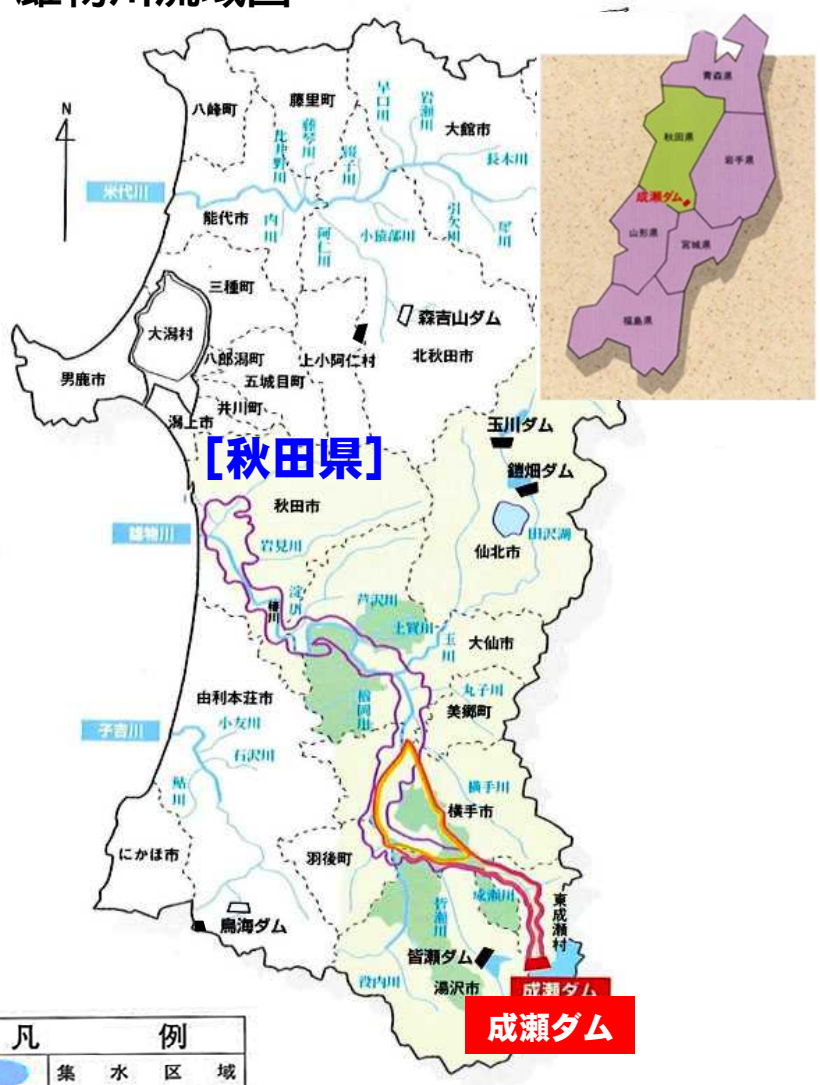

※　上記のほか、水理水文調査、環境調査の各種調査検討等を継続する。

# ２．成瀬ダム建設事業概要

# 成瀬ダム建設事業　計画概要

Naruse Dam

## ■ 雄物川流域図




秋田県雄勝郡東成瀬村
（雄物川水系成瀬川）

事業費　　約2,600億円
工　期　　令和9年度

## ■ 成瀬ダムの目的

### ①洪水調節

成瀬ダムの建設される地点における計画高水流量460m$^3$/s のうち、410m$^3$/sの洪水調節を行います。

### ②流水の正常な機能の維持

成瀬ダム下流において　既得用水の補給や河川環境の機能維持と増進を図ります。

### ③かんがい

皆瀬川、成瀬川及び雄物川沿岸の平鹿平野地区約10,050haの農地に対するかんがい用水の補給を行います。

### ④水道（湯沢市、横手市、大仙市）

湯沢市、横手市、大仙市に対して、新たに1日最大13,164m$^3$の水道用水の取水を可能にします。

### ⑤発電（秋田県）

成瀬ダムの建設に伴って新設される成瀬発電所において、最大出力5,800kwの水力発電を行います。

# 成瀬ダム完成イメージ

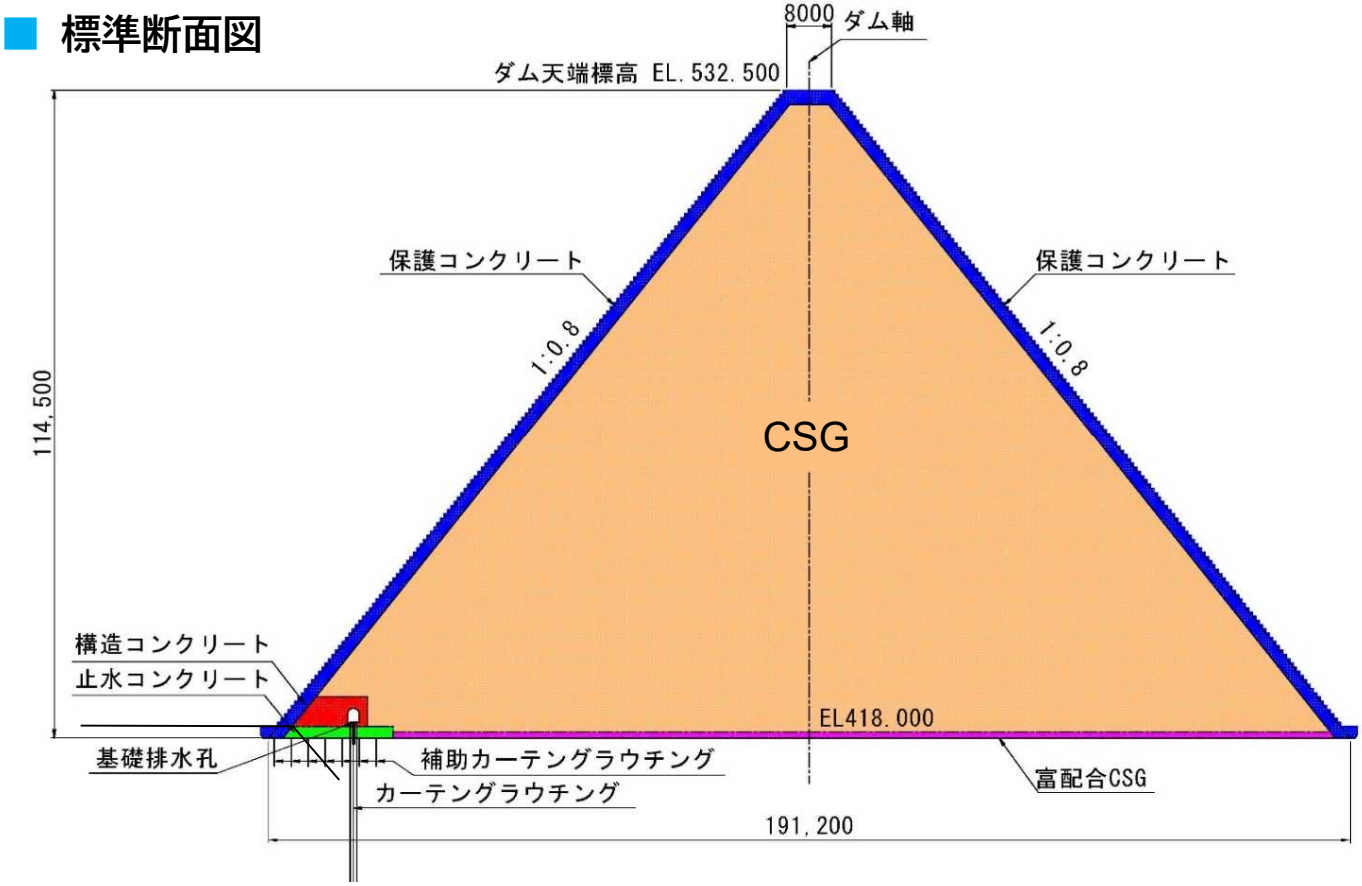
Naruse Dam



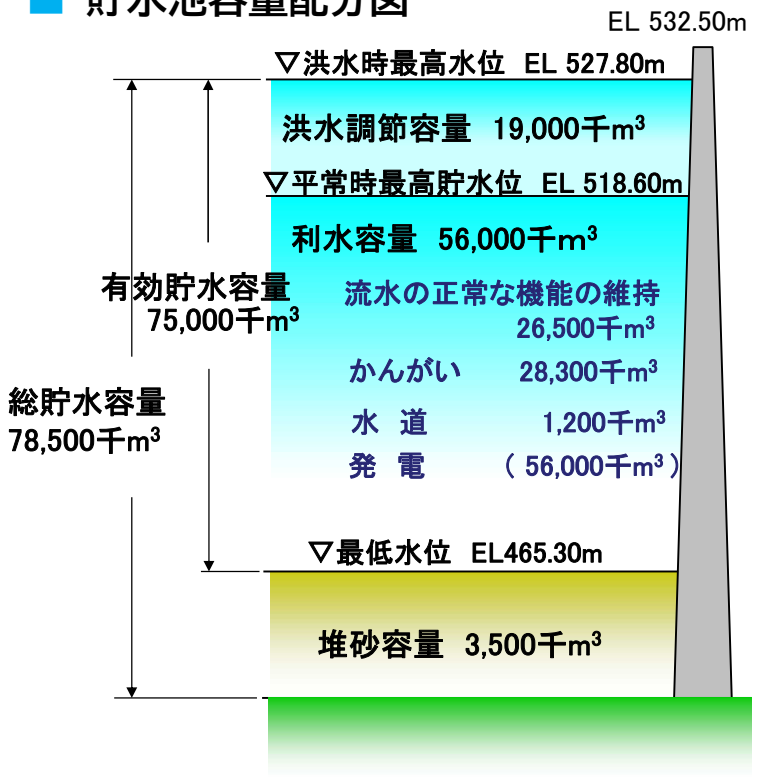
# 成瀬ダムの諸元

Naruse Dam

## ■ 標準断面図




## ■ 貯水池容量配分図




## ■ 成瀬ダムの諸元

| 施　設　名 | 成瀬ダム | 備　考 |
|---|---|---|
| ダ ム 型 式 | 台形CSGダム※ | |
| ダ ム 高 | 114. 5m | 台形CSGダムで日本一 |
| 堤 頂 長 | 755. 0m | 台形CSGダムで日本一 |
| 堤 体 積 | 4, 850千m³ | 台形CSGダムで日本一 |
| 総貯水容量 | 78, 500千m³ | 台形CSGダムで日本一 |
| 湛 水 面 積 | 2. 26km² | |
| 集 水 面 積 | 68. 1km² | |

**※台形CSGダム**

台形CSGダムは、建設現場周辺で手近に得られる石や砂れきとセメント、水を混合してつくるCSG（Cemented Sand and Gravelの略）を使い、堤体の上流面と下流面が同じ勾配をもつ台形型に造るダム型式です。

この台形CSGダムは、日本で開発された比較的新しいダム型式です。

# 成瀬ダム建設事業の沿革

Naruse Dam

| | | |
|---|---|---|
| 昭和58年 | 4月 | 実施計画調査開始（秋田県） |
| 平成 3年 | 4月 | 国直轄事業に移行（現：湯沢河川国道事務所所管） |
| 平成 9年 | 4月 | 建設事業着手 |
| 平成13年 | 5月 | 基本計画官報告示（H13.5.29：国土交通省第887号）事業費：1,530億円 工期：平成29年度 |
| 平成13年 | 10月 | 下流工事用道路工事着手 ※岩井川地区L=3.28km |
| 平成15年 | 3月 | 用地補償基準妥結 |
| 平成17年 | 3月 | 付替国道342号工事着手 |
| 平成20年 | 1月 | 「雄物川水系河川整備基本方針」策定（H20.1.28） |
| 平成21年 | 3月 | 仮排水トンネル　着手 |
| 平成21年 | 12月 | 下流工事用道路完成（供用開始） |
| 平成21年 | 12月 | 検証の対象となるダム事業に選定 |
| 平成24年 | 4月 | 付替国道342号一次供用区間開通 |
| 平成24年 | 8月 | 仮排水トンネル　完成 |
| 平成25年 | 1月 | ダム検証に係る対応方針決定（継続）　（H25.1.25） |
| 平成26年 | 3月 | 基本計画（第1回変更）告示（H26.3.12：国土交通省第304号）事業費：1,530億円　工期：平成36年度 |
| 平成26年 | 4月 | 成瀬ダム工事事務所　開所 |
| 平成26年 | 11月 | 「雄物川水系河川整備計画」策定（H26.11.28） |
| 平成29年 | 3月 | 新事務所庁舎開所（H29.3.23） |
| 平成29年 | 4月 | 「雄物川水系河川整備計画」変更（H29.4 13）　※ダム型式変更 |
| 平成29年 | 9月 | 基本計画（第2回変更）告示（H29.9.12：国土交通省第822号）　※ダム型式変更（ロックフィルダム→台形ＣＳＧダム） |
| 平成30年 | 3月 | 仮排水トンネルへ転流開始　（H30.3.26転流式） |
| 平成30年 | 9月 | ダム本体工事着工（H30.9.15着工式） |
| 令和元年 | 10月 | ダム堤体打設開始（R1.10.15初打設式） |
| 令和3年 | 9月 | 基本計画（第3回変更）告示（R3.9.10：国土交通省第1255号）事業費：2,230億円　工期：令和8年度 |
| 令和4年 | 5月 | 定礎式（R4.5.14） |
| 令和5年 | 4月 | 付替国道342号全線開通式（R5.4.29） |
| 令和6年 | 8月 | 基本計画（第4回変更）告示（R6.8.27：国土交通省第1113号）事業費：2,600億円　工期：令和9年度 |
| 令和6年 | 11月 | ダム堤体CSG打設完了（R6.11.20：CSG打設完了式） |
| 令和7年 | 9月 | 管理庁舎建築工事完成（R7.9.30） |
| 令和7年 | 11月 | 堤体打設完了（R7.11.18：堤体打設完了式） |

# ３．成瀬ダム建設事業進捗状況

# 事業の進捗状況（令和8年10月末時点）

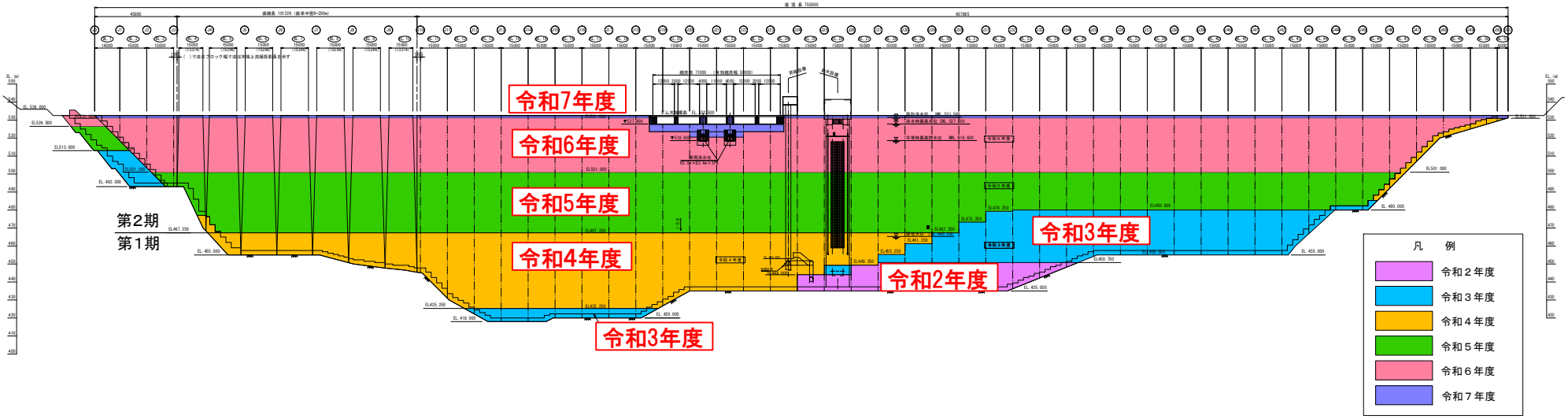
Naruse Dam

| | |
|---|---|
| 補償基準他 | H15.3　東成瀬村（村有地）用地買収に関する覚書締結 |
| 用地取得<br>（312.1ha） | 約99%(310.8ha) |
| 家屋移転<br>（11戸） | 100%（11戸） |
| 付替国道・付替林道<br>（約7.3km） | 100%（7.3km/7.3km） |
| ダム本体及び<br>関連工事 | 仮排水トンネル 100%　基礎掘削 100%　堤体打設等関係 約100%　試験湛水 |
| 事業進捗率<br>（約2,600億円） | 約94%（約2,447億円） |

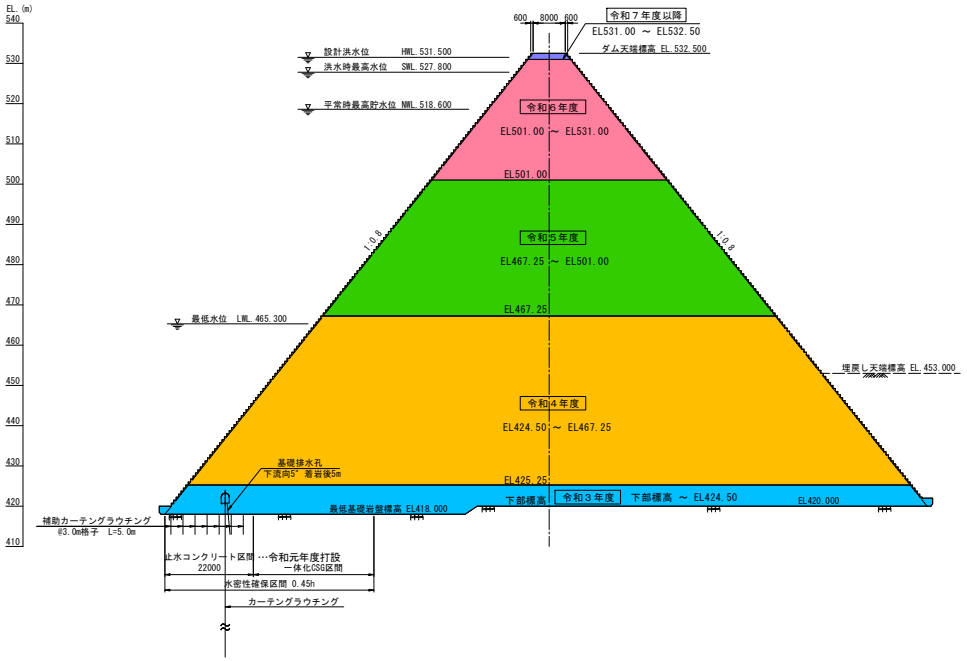
# 堤体打設実績

Naruse Dam

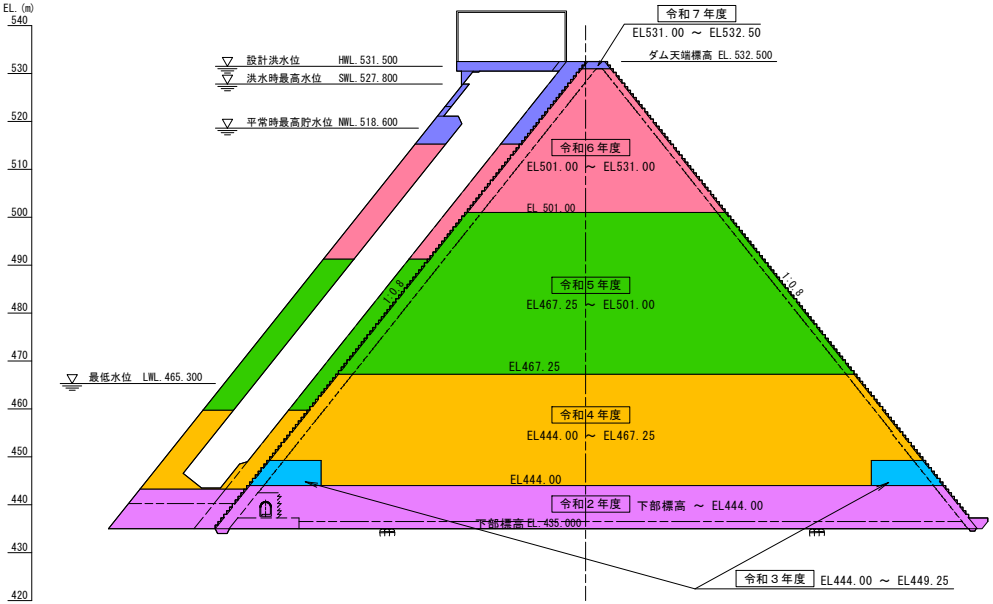
ダム正面図（上流面図）




ダム標準断面図（最大断面）




ダム標準断面図（取水塔部）




※ダム上流面図とダム標準断面の縮尺は異なる。

# 成瀬ダム工事進捗状況（建設現場全景）

Naruse Dam



# 成瀬ダム工事進捗状況（右岸側から左岸を望む）

Naruse Dam



# 成瀬ダム工事進捗状況（上流側から堤体付近を望む）

Naruse Dam



# 成瀬ダム工事進捗状況（CSG製造ラインの撤去状況等）

Naruse Dam



# 成瀬ダム工事進捗状況（原石山採取地における法面保護の完了状況）

Naruse Dam



# 成瀬ダム工事進捗状況（桧山台地区跡地における基盤整備状況）

Naruse Dam

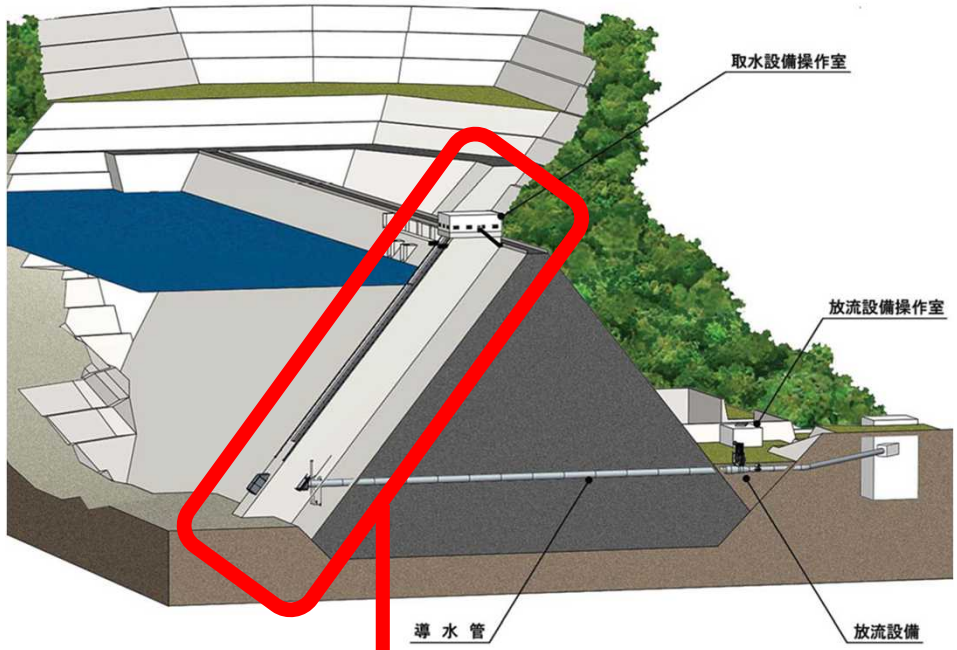


# 取水設備新設工事の進捗状況

Naruse Dam

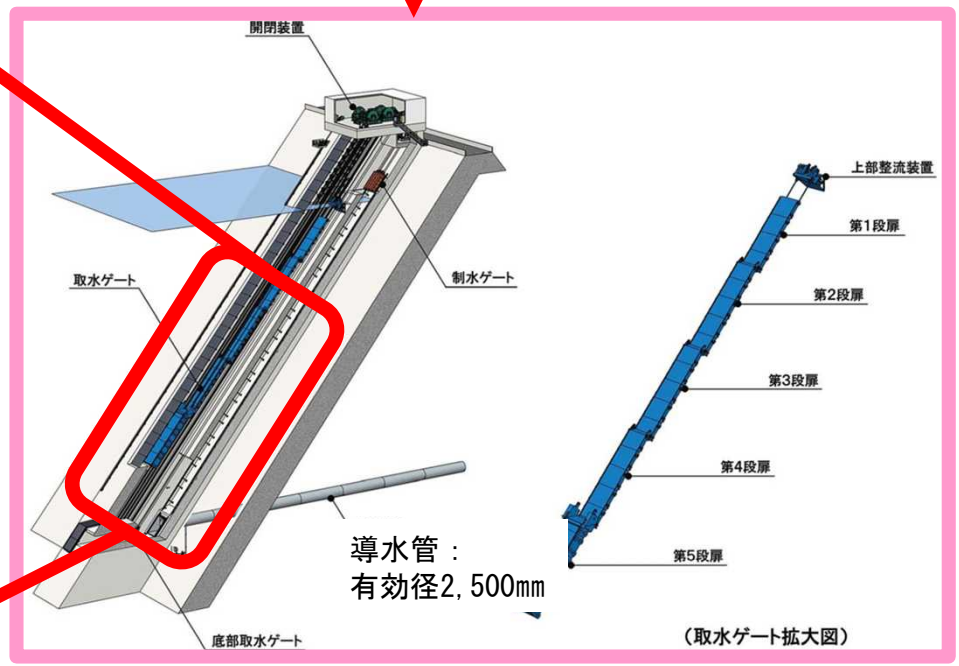
■設備の目的：下流への利水補給、発電
■取水方式：選択取水（任意の水位からの取水可能）
■取 水 量：最大18m3/s
　（但し、底部取水能力は最大46m3/s(水位がSWL時)）
■型　　式：直線多段式ローラゲート

※SWL：洪水時最高水位(サーチャージ水位)

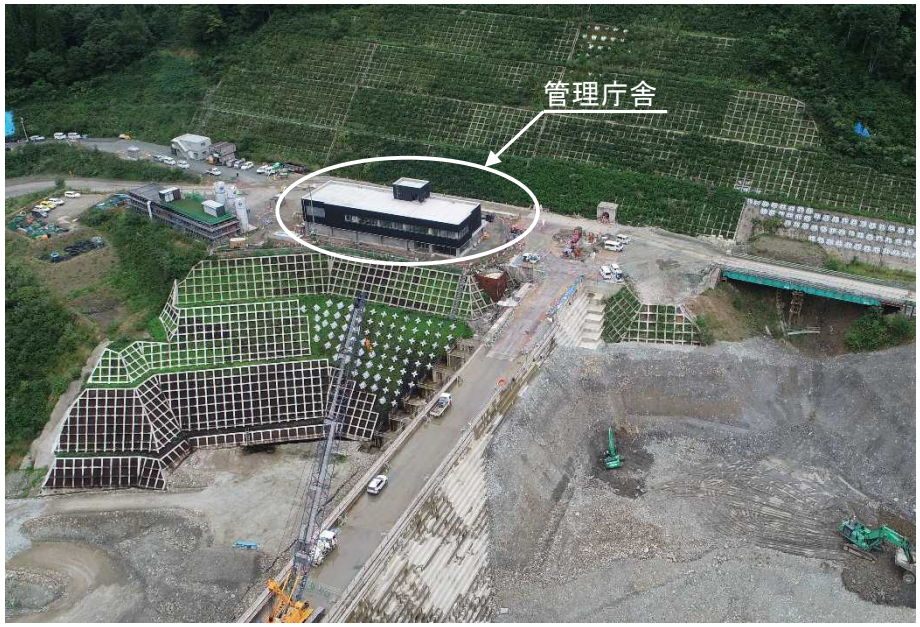



取水設備呑口部施工状況（R8.10.22撮影）





# 管理庁舎の整備状況




遠景　令和7年9月18日撮影



全景（東側）　令和7年9月22日撮影



全景（南西側）　令和7年9月22日撮影



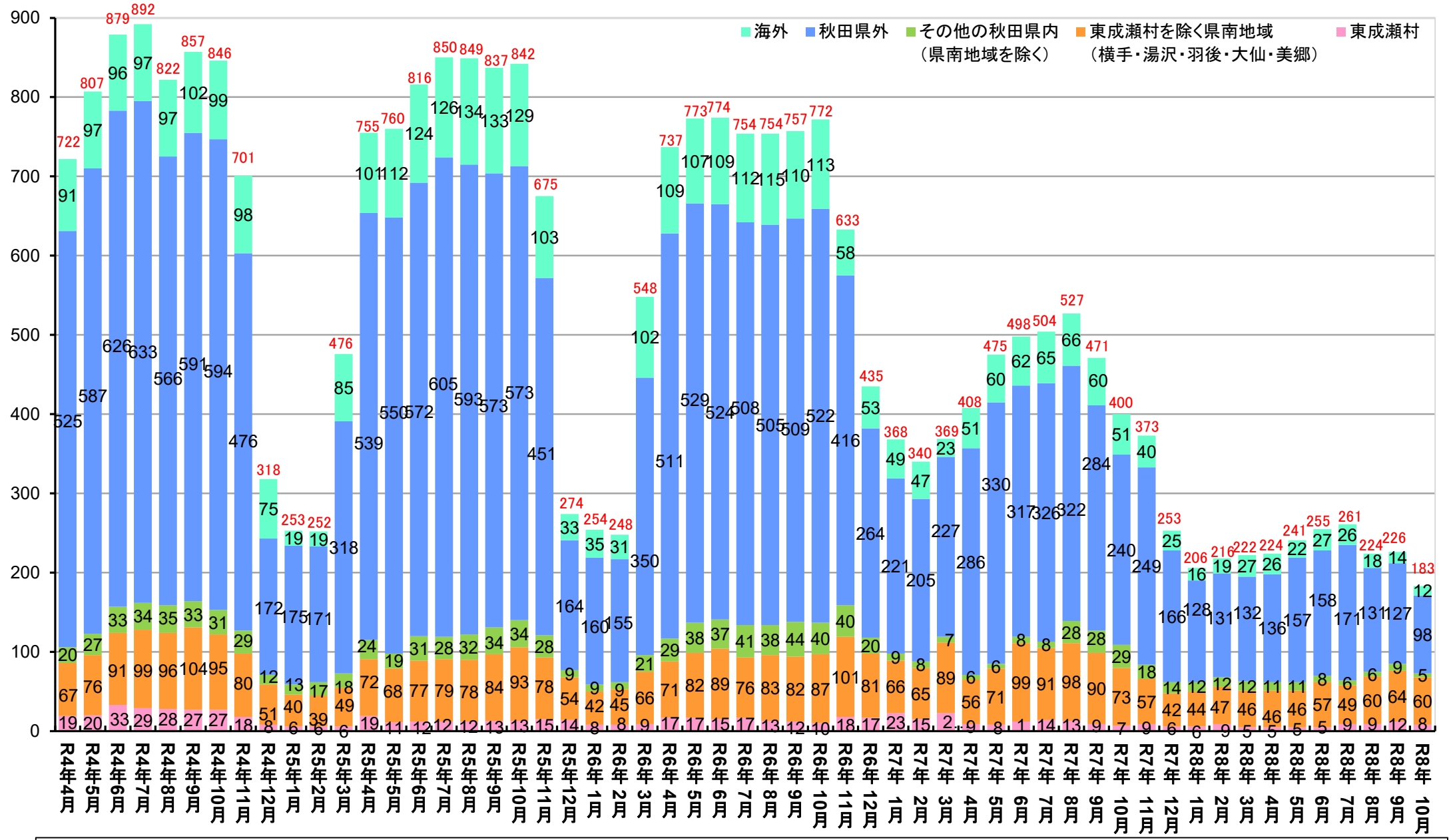
1階エントランスホール　令和8年6月19日撮影



2階　管理室　令和8年6月19日撮影

# 成瀬ダム建設事業における近年の工事等従事者数の推移

Naruse Dam




【R8.10月末時点における従事者の内訳】

■県外からの従事者：岩手県20人、宮城県20人、青森県17人、大阪府9人、山形県8人、東京都5人、奈良県5人、茨城県3、長野県3、福岡県3人（※上位10地域）

■海外からの従事者：スリランカ8人、フィリピン2人、中国2人

# ４．地域振興の取組状況

# 成瀬ダム水源地域ビジョンの取組

Naruse Dam

「成瀬ダム水源地域ビジョン」は、令和9年度のダム完成に向けて、自立的かつ持続的な地域の活性化を目的に策定するものとして、令和6年12月に策定委員会を設立して検討を進めています。

## 【成瀬ダム水源地域ビジョン　検討フロー】

1．成瀬ダム及び水源地域の概要

令和6年度　2．基本理念と基本方針

**基本理念**
“成瀬ダム×地域資源×連携”でみんなが人と風土の豊かさを実感できる地域づくり

方針1：郷土の歴史・文化の継承、地域への意識醸成
方針2：「人と風土の豊かさを実感する」魅力向上
方針3：地域内の周遊観光の拡大から滞在型観光へ
方針4：地域資源を活かした産業の活性化
方針5：連携したプロモーション・情報発信等
方針6：雄物川流域、周辺地域等との連携・協調

令和7年度　3．行動計画（活性化の方策）

令和8年度　4．推進方策

令和9年度　成瀬ダム水源地域ビジョン とりまとめ

### 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会　委員名簿

| | 所属 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 学識経験者 | 秋田大学　教育文化学部<br>地域文化学部 | 教授 | 林　武司 | 委員長 |
| | 秋田大学　教育文化学部 | 教授 | 益満　環 | |
| 観光 | （一社）秋田県観光連盟 | 専務理事 | 伽羅谷 美穂 | |
| 水利用 | 秋田県雄物川筋土地改良区 | 理事長 | 柿崎　幹夫 | |
| 地域活動 | NDM（なるせﾀﾞﾑﾐｰﾃｨﾝｸﾞ）<br>取組推進部会 | 局長 | 鈴木　実 | |
| 行政機関 | 秋田県雄勝地域振興局 | 局長 | 小原　友明 | |
| | 横手市 | 市長 | 高橋　大 | |
| | 湯沢市 | 市長 | 佐藤　一夫 | |
| | 大仙市 | 市長 | 老松　博行 | |
| | 東成瀬村 | 村長 | 備前　博和 | |
| | 東成瀬村　教育委員会 | 教育長 | 大沼　一義 | |
| | 成瀬ﾀﾞﾑ工事事務所 | 事務所長 | 野口　暁浩 | |



第2回 策定委員会（R7.3.26）


第3回 策定委員会（R7.10.7）


第4回　策定委員会



ダム活キックオフミーティング（R7.1.26）


ダム活ミーティング2025（R7.12.14）

# 第４回　成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会　開催概要

Naruse Dam

■水源地域の自立的・持続的な活性化を図るため、令和６年１２月に成瀬ダム水源地域ビジョンを策定するための委員会（委員長：林武司秋田大学教授）を立ち上げ、水源地域や流域の自治体・住民・関係団体、有識者、ダム事業者とともに、流域全体の発展を目指すビジョンの策定に向けて検討を進めているところです。
■今回は、令和８年３月２７日に「第４回成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催し、これまで検討していた「基本理念・基本方針」及び「行動計画」の素案を基に、具体的に取り組みを進めていくための「行動計画」の最終案を提示し、委員から了承を得ました。あわせて、ダム湖名称の選定方法の協議や、令和８年度のスケジュールについて協議を行いました。

■日時：令和8年3月27日(金)　13時30分～15時30分
■会場：東成瀬村役場防災情報センター3階会議室

【委員会の概要】
成瀬ダム完成を見据え、水源地域の自立的・持続的な振興を目的として、行動計画（最終案）やダム貯水池名称の検討等を行った。

【主な協議内容】
① 水源地域ビジョン 行動計画（最終案）
② ダム貯水池名称の選定方法
③ 令和8年度スケジュール
④ 桧山台跡地の利活用

【協議結果・主な意見】
■ 行動計画（最終案）は委員会として了承
■ 教育・生涯学習と連携し、ダムへの理解促進を図る
■ 世界最大級の台形CSGダムである点を積極的に発信
■ 名称募集では子ども・住民参加を重視し、シビックプライドを育成
■表彰内容（地元特産品等）を具体化し応募促進

【今後の方向性】
■行政実務者会議を中心に施策を具体化
■ 桧山台跡地は通年利用も視野に利活用方策を検討

**■出席者名簿**

| | 所 属 | 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|
| 学識経験者 | 秋田大学 教育文化学部<br>地域文化学科 | 教授 | 林　武司 | 委員長 |
| | 秋田大学 教育文化学部<br>地域文化学科 | 准教授 | 益満　環 | |
| 観光 | 一般社団法人 秋田県観光連盟 | 専務理事 | 上田　智子 | 欠席 |
| 水利用 | 秋田県雄物川筋土地改良区 | 理事長 | 柿﨑　幹夫 | |
| 地域活動 | NDM（なるせダムミーティング）取組推進部会 | 代表 | 鈴木　実 | |
| 行政機関 | 秋田県 雄勝地域振興局 | 局長 | 小原　友明 | |
| | 横手市 | 市長 | 髙橋　大 | |
| | 湯沢市 | 市長 | 佐藤　一夫 | |
| | 大仙市 | 副市長 | 舛谷　祐幸 | 代理 |
| | 東成瀬村 | 村長 | 備前　博和 | |
| | 東成瀬村 教育委員会 | 教育長 | 大沼　一義 | |
| | 成瀬ダム工事事務所 | 事務所長 | 野口　暁浩 | |



委員会の開催状況





# 成瀬ダムにおけるダム湖の名称選定

Naruse Dam

- 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会では、成瀬ダムの完成により新たに創出されるダム湖（貯水池）が、地域の皆様にとって誇りや愛着を持ち、「自分たちのダム」と思って頂けるような名称を広く募した結果、一次選定として20案が抽出されました。
- 令和8年9月1日から最終投票を行い、水源地域ビジョン策定委員会における最終審査を踏まえ、ダム湖名称を決定する予定であり、ダム湖名称が採用された方等へは、表彰及び記念品の贈呈を行う予定です。

## ■ 選定スケジュール ※今後の状況によって変更になる可能性があります

| | |
|---|---|
| 令和 8年5月1日 | ① 公募開始 ※全国の全ての方を対象 |
| 令和 8年7月17日 | ② 公募募集締め切り |
| 令和 8年8月下旬 | ③ 一次選定 ※20案を抽出 |
| 令和 8年9月1日 | ④ 最終投票開始<br>※東成瀬村、横手市、湯沢市、大仙市在住、在学、在勤の方を対象 |
| 令和8年10月30日 | ⑤ 最終投票締め切り |
| 令和 8年12月上旬 | ⑥ 最終審査・ダム湖名称決定 ※水源地域ビジョン策定委員会 |
| 令和 8年12月上旬 | ⑦ ダム湖名称公表予定 ※ダム活ミーティング（湯沢市内） |
| 令和 8年12月上旬 | ⑧採用者等への表彰・記念品贈呈 ※ダム活ミーティング（湯沢市内） |

参考）●森吉山ダム：「森吉四季美湖」、●胆沢ダム：「奥州湖」、●津軽ダム：「津軽白神湖」




～候補名称～

1. 赤滝湖（あかたきこ） 2. 赤滝仙人湖（あかたきせんにんこ） 3. 銀牙湖（ぎんがこ） 4. 栗駒清流湖（くりこませいりゅうこ） 5. 栗駒仙人湖（くりこませんにんこ）
6. 仙境湖（せんきょうこ） 7. 仙人湖（せんにんこ） 8. 仙望湖（せんぼうこ） 9. 成瀬栗駒湖（なるせくりこまこ） 10. 成瀬湖（なるせこ）
11. 成瀬翠湖（なるせすいこ） 12. 成瀬仙人湖（なるせせんにんこ） 13. 成瀬豊秋湖（なるせほうしゅうこ） 14. 成瀬星空湖（なるせほしぞらこ） 15. 成瀬結湖（なるせゆいこ）
16. 能恵姫湖（のえひめこ） 17. 東成瀬湖（ひがしなるせこ） 18. ひがなる湖 19. 東成湖（ひがしなるこ） 20. 夢仙人湖（ゆめせんにんこ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1.投票資格 | 東成瀬村、横手市、湯沢市、大仙市に在住、在学、在勤の方<br>（本投票の趣旨をご理解いただける方ならどなたでも構いません） | | |
| 2.投票期間 | 令和8年9月1日(火)～令和8年10月30日(金) ※10月30日(金)必着 | | |
| 3.投票ルール | 投票は1人につき1回まで（複数投票は無効） | | |
| 4.投票方法 | 投票フォーム | URL | https://enquete.cc/q/3VZYVY3A |
| | | ※投票フォームをご利用になれない場合は、裏面の投票用紙に記入の上、本紙面下部の応募先まで郵送もしくはFAXにてお送りください。 | |
| 5.投票時記入事項 | 最もよいと思う名称案、投票の理由、在住・在学・在勤 自治体名、氏名<br>※個人情報については、名称選考のみに使用し、それ以外の目的には一切使用しません。 | | |
| 6.名称選定組織 | 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会<br>※最終投票の結果を参考に、委員会において最終決定します。 | | |

# 成瀬ダム“ダム活”ミーティング

Naruse Dam

■成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会(委員長：林武司秋田大学教授)では、成瀬ダムを活用した水源地および周辺地域の活性化を目指し、「成瀬ダム水源地域ビジョン」の策定に向けた検討を進めています。現在、令和７年３月に決定した「基本理念・基本方針」を実現するための「行動計画」について議論を進めており、今後の具体の取組につなげていくためには、周辺地域の方々と一緒に考え、広げていくことが重要です。
■このため、『ダムを活かした地域の魅力向上・観光振興を考える』をテーマに、「成瀬ダム“ダム活”ミーティング」を開催しました。
■当日は、会場に約１７０名の参加があり、同時配信したYoutubeライブも７８回のアクセスがありました。

□ **開催日時** 令和7年１２月１４日（日）１３時１５分～１５時３０分　□ **開催場所** 横手市 浅舞地区交流センター／平鹿農村環境改善センター
□ **主　　催** 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会　□ **後　　援** 東北地域づくり協会

※水源地域ビジョンとは：ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を目的とした「水源地域活性化のための行動計画」で、策定にあたっては水源地域の自治体や地元住民、ダム事業者・管理者等が策定主体となり、流域の自治体、関係行政機関等に参画を得て進めていくもの。

## プログラム

**０．オープニング「鍋倉囃子（なべくらばやし）」**
**１．開会挨拶**　横手市長　髙橋　大
**２．水源地域ビジョン基本方針について**　東成瀬村長　備前　博和
**３．基調講演**
『ダムを活かした地域の魅力向上について』
【講師】 秋田大学　教育文化学部　地域文化学科　准教授　益満　環
**４．“ダム活”ミーティング**
『ダムを活かした地域の魅力向上・観光振興について』
【コーディネーター】 水源地域ビジョン策定委員会 委員長
秋田大学　教育文化学部　地域文化学科　教授　林 武司
【パネリスト】 ■秋田大学　教育文化学部　地域文化学科　准教授　益満　環
■（一社）みやぎ大崎観光公社 常務理事兼ＣＯＯ 阿部 昌孝
■ YAMAGATA EXPERIENCE 代表　堀江　守弘
**５．閉会挨拶**　湯沢市長　佐藤　一夫

## ミーティング要旨

**基調講演**
■学生と連携し、大仙市でコメ農家と取り組む日本酒造りなど、地域と学生が協働する事例を紹介。
■ダムの「機能」だけでなく、視点を変え、マーケティングの要素を取り入れ、“楽しさ”などの付加価値を加えることが重要。
■国内の「ダム活」事例から見える成功要因として、①非日常性、②希少性、③収集欲が挙げられる。
**“ダム活”ミーティング**
■地域にある観光・食などの資源を客観的に評価し、その強みを最大限に活かすことが、事業を継続する上で重要。
■東北地方は四季が豊かであり、冬季の豪雪も観光資源としてキラーコンテンツになり得る。
■岩手県の平泉や山形県の銀山温泉など、周辺地域の異なるコンテンツと組み合わせることで、成瀬ダムと周辺地域の観光資源を連携できる可能性がある。
■この地域で活動する方々（飲食・宿泊業、農業など）は、観光や成瀬ダムを活用した取組を進める上で重要なキーマンである。
■「麺文化」が盛んな市町が集まる地域は珍しく、共通項で連携すれば地域活性化に大きく寄与できる。学生との協働も期待される。

０．オープニングアトラクション「鍋倉囃子」



鍋倉囃子保存会による演奏の様子

１．開会挨拶



横手市長
髙橋　大

２．ビジョン基本方針説明



東成瀬村長
備前 博和

３．基調講演



秋田大学　准教授
益満　環

４．“ダム活”ミーティング



パネルディスカッションの様子

５．閉会挨拶



湯沢市長
佐藤　一夫

# 令和8年度開催「成瀬ダム“ダム活”ミーティング」について

Naruse Dam






# 成瀬ダムまつり2026開催概要

Naruse Dam

■今回で３回目となる「成瀬ダムまつり」が、令和８年８月２３日（日）に盛大に開催され、 昨年を大幅に上回る５，９４６人のお客様にご来場いただき、会場に入りきれない来場者の車列により最大で約１０ｋｍもの渋滞が発生しました。
■このイベントは、かつて地域を盛り上げた「赤滝祭り」の復興を目指してスタートしたもので、地域のつながりと笑顔あふれる交流の場とし、村の魅力を発信・再発見することを目的としており、村内を中心とした企業による飲食等のブースが設置されるとともに、ダムをはじめとするパネル展示が行われたほか、Youtube「ダム旅チャンネル」を運営する君島氏をMCに迎え、備前 東成瀬村長と野口 成瀬ダム工事事務所長によるトークイベントも行われました。
また、ダム見学ツアー、イワナのつかみ取りや餅まき、気球係留、ドローン体験等のコーナーも設けられ、大人から子供まで楽しんでいただくとともに、東成瀬村出身の漫画家高橋よしひろ先生によるサイン会も開催され、多くの来場者で賑わっていました。

## まつりの様子



村の特産品を囲み楽しむ来場者



岩本公水ライブに集まる
多くのファンの皆様



みんなで仙人乾杯！



大盛況だった高橋先生サイン会



会場に向かう車の渋滞の様子



多くの方が参加した
ダム見学バスツアーの様子



子供たちが夢中になった
イワナつかみ取り



メインイベントの餅まき
に群がる来場者

# 水源地域の振興 ～ダムツーリズム～

■令和８年８月２３日に開催された「成瀬ダムまつり」に合わせて、昨年度に引き続きインフラダムツーリズムの試行として民間旅行会社と協働したバスツアーを実施しました。
■今回のバスツアーを通じて、成瀬ダムの役割や魅力について理解を深めていただくとともに、地域の観光資源としての可能性を体感していただく機会となりました。

参加人数：合計68名（□秋田発：39名、□山形発：29名）



ツアー募集チラシ


ダム見学（上流側取水塔）



ダム見学（モータープール）


技術職員による現場説明



DXラボ（VR体験）



上流展望台

# 水源地域の振興 ～地元連携、地域活性化の取り組み～

Naruse Dam

水源地域の東成瀬村と下流受益自治体の方々が、水源地域や水の大切さ等について、互いに理解を深めることを目的に、東成瀬村の文化と歴史を体験し交流する「成瀬ダム交流会」を令和４年度から実施（今年で４回目の開催）。

成瀬ダム交流会（令和８年８月６日開催）

■水源地域の東成瀬村と、下流受益自治体の横手市・湯沢市・大仙市を対象に参加者を募集し、計２８名が参加。

■堤体打設の終盤となっている成瀬ダムで現場見学を行いました。

■また、東成瀬村のまるごと自然館を会場に、勾玉づくりや火起こしの縄文体験を通して交流を深めました。



DXラボ見学



勾玉づくり



火起こし体験




成瀬ダム見学での記念撮影




縄文服を着て記念撮影






# 水源地域の振興 ～成瀬の森づくり～

Naruse Dam

■ 成瀬ダム建設工事で使用した土地を森によみがえらせる目的のほか、森づくりを通して成瀬ダムに対する理解を深め、水源地と下流域のつながりを構築することを期待する目的で、東成瀬村と成瀬ダム工事事務所が共同で、令和８年１０月１７日に第７回「成瀬の森づくり」を開催しました。
■ 赤滝遊歩道周辺でブナやミズナラの幼木と種子を採取し、まるごと自然館の「まるごと森のほいくえん」への仮移植を行いました。今後は、「まるごと森のほいくえん」で数年間育てた苗木を成瀬ダム周辺の植栽箇所(桧山台地区)へ移植し森林の再生を図る予定です。

## ◆ 第6回の様子（令和7年度10月18日　開催）


幼木の採取の様子


まるごと森のほいくえんへの仮移植の様子


ヤマハンノキの挿し穂の植樹の様子

## ◆ 第7回の様子（令和8年度10月17日　開催）


幼木・種子の採取の様子


まるごと森のほいくえんへの仮移植の様子

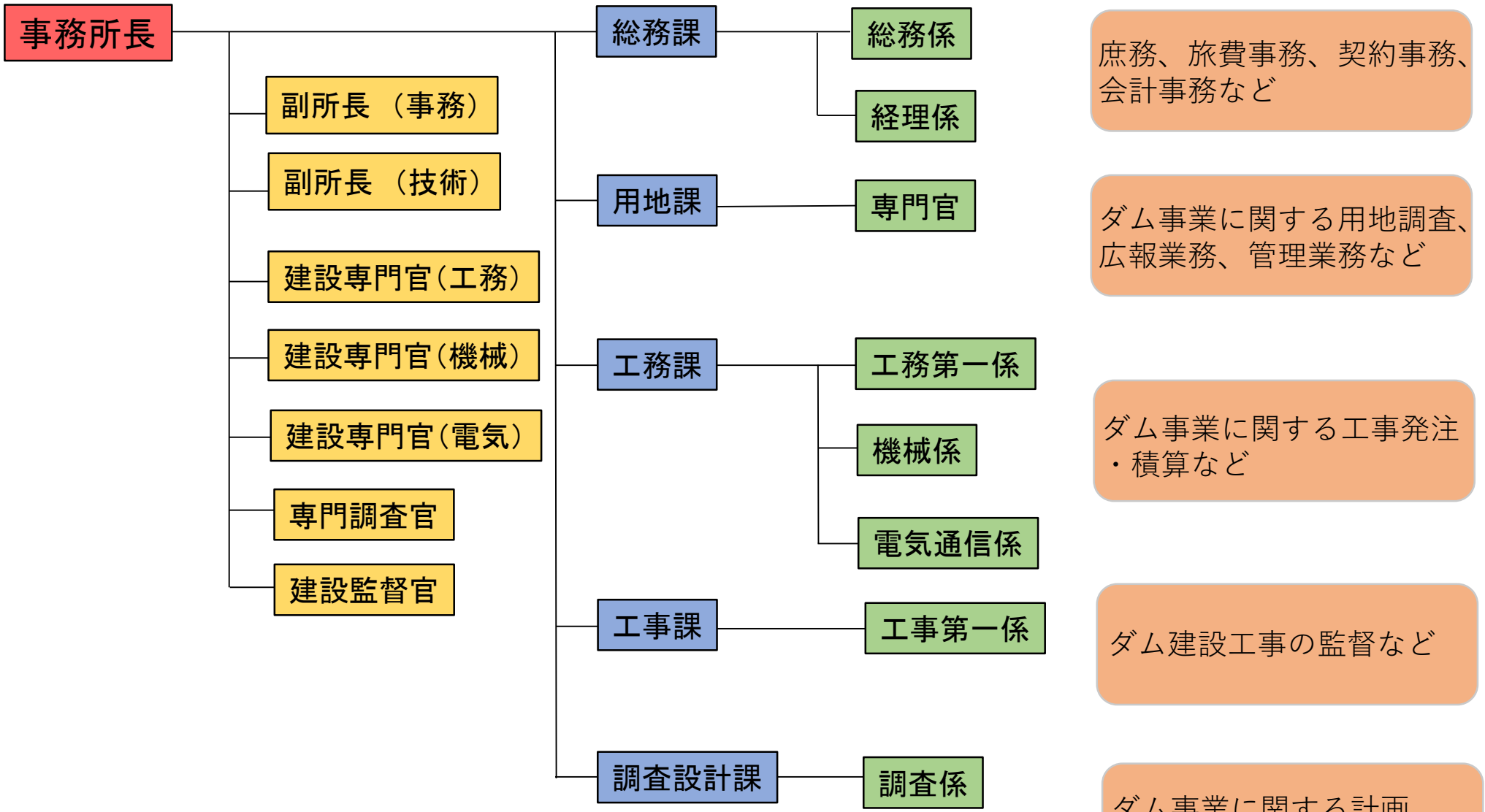


成瀬の森づくりで記念撮撮影を行う参加者の様子

# ５．事務所の組織概要

# 成瀬ダム工事事務所　令和8年度 組織図

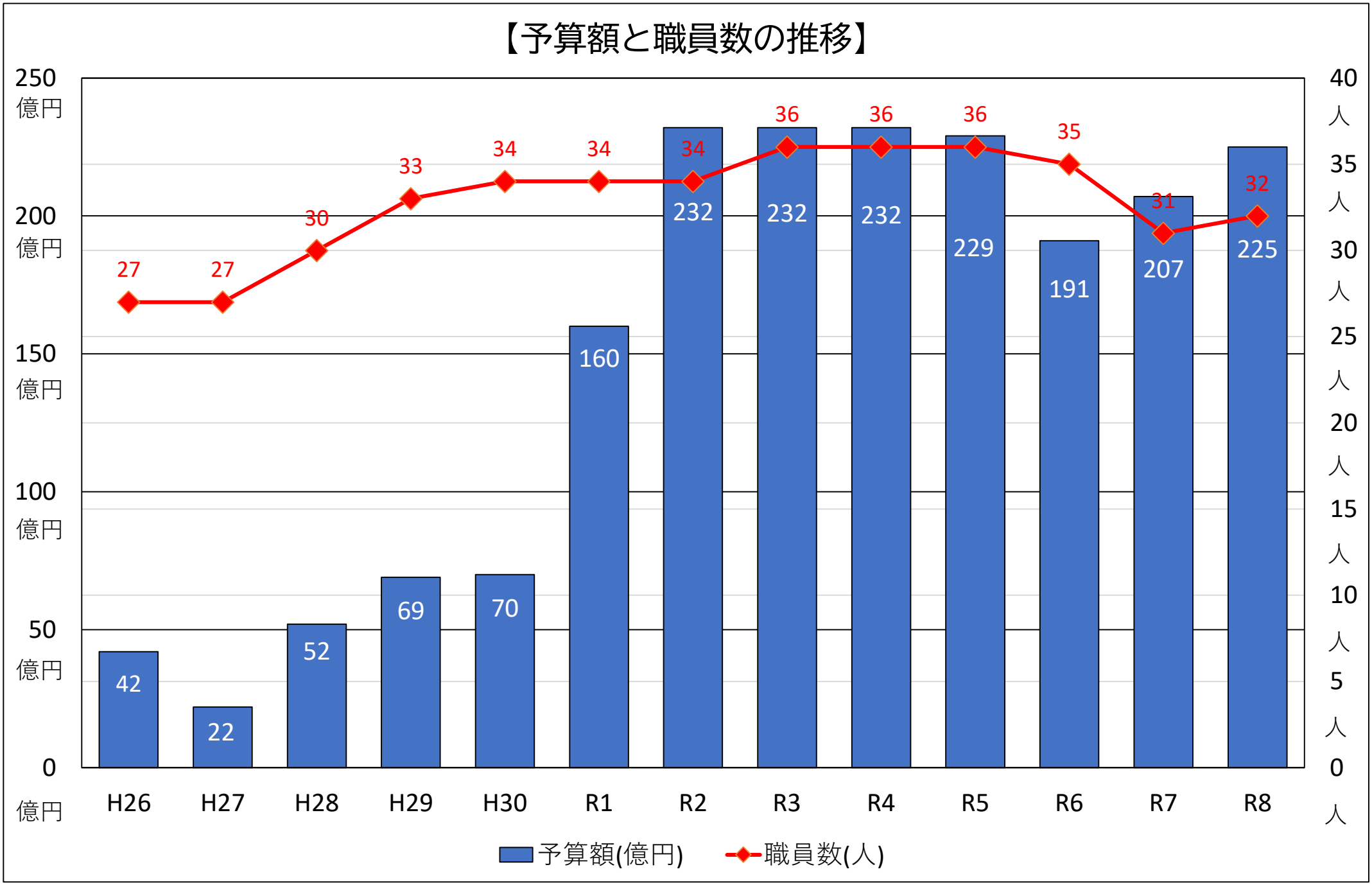
Naruse Dam




※ 職員数：32名

# 成瀬ダム工事事務所の職員数と予算の推移

※H26.4.1 組織設置以降



# ６．参考資料

# 【DX】ダム堤体打設の自動化による「現場の工場化」

Naruse Dam

■成瀬ダム堤体打設工事では、建設機械の自動化システム「A4CSEL®」※1を導入し、熟練オペレーターの操作分析を基にプログラミングされたブルドーザや振動ローラ、ダンプトラックによる自動化施工を実施。
■現場から400㎞離れた神奈川県の実験フィールドの3名のITパイロットが、３機種14台もの自動化建設機械を昼夜連続で管制。
■ＩＴ等異分野との技術融合により、苦渋作業の解消、安全性の向上、省人化等建設業が抱える様々な課題に対応。




自動化施工を管制するITパイロット




**①CSG運搬（ベルトコンベア、SP-TOM※2）**
CSG製造プラントで製造されたCSGは、ベルトコンベア、SP-TOMでダムまで運搬します。




**②CSG運搬（自動ダンプトラック）**
自動ダンプトラックにより打設を行う場所までCSGを運搬します。




**③CSG敷均し**
1層25㎝の厚さになるように自動ブルドーザで敷均します。これを3回繰り返して締め固め後に75㎝になるように敷均します。




**④CSG締め固め（転圧）**
CSGを敷均した後、自動振動ローラで締め固めを行います。この工程を繰り返して成瀬ダムを建設していきます。

※1 ㈱鹿島建設の登録商標
Automated/ Autonomous/Advanced/ Accelerated Construction system for Safety, Efficiency, and Liability
※2
Special Pipe Transportation Method：パイプを回転させることで材料分離させずに品質を保ったまま自重で高所から低所へ連続搬送する手法

# 【DX】画像解析によるCSG粒度の連続監視

Naruse Dam

■成瀬ダム堤体打設工事では、堤体を構成するCSG材の粒度の管理はふるいによる従来法で行っていた。
■従来法は、人力により1回/h（施工初期）の頻度で測定を行っており、品質管理に多大な労力と時間を要している。
■粒度管理にAIを用いたCSG材粒度画像解析を採用し、従来の抜き取り確認に対して連続監視が可能になり、「試験にかかる苦渋作業の削減」を可能とした。

## 現状の課題

- 「ひし形理論」を適用する上で、**粒度・表面水量の測定は必要不可欠**。
- **人力により1回/h（施工初期）の頻度**で実施。
- 品質管理に**多大な労力と時間を要している**。

## 成瀬ダムにおける粒度・表面水量連続監視「試験にかかる苦渋作業の削減」

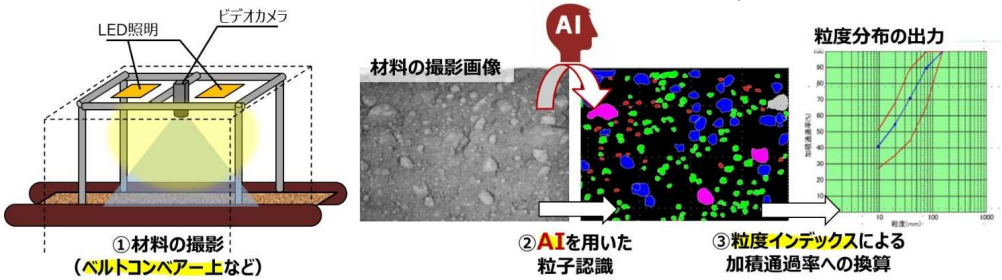



成瀬ダムのＣＳＧ製造設備（同様の構造を3系統配置）

画像解析による粒度の連続監視 ＋ 近赤外線水分計による表面水量の測定※

## 品質管理を自動化した管理システム*の構築

＊「PRISM（官民研究開発投資拡大プログラム）｜内閣府」に採択。




▲AIによる粒度画像解析




▲近赤外線水分計による表面水量測定※




▲AIによる粒度画像解析

# 【DX】クローラドリルの穿孔エネルギーによる岩級判定

Naruse Dam

■成瀬ダム原石山採取工事では、発破のため穿孔する際に、クローラドリル穿孔時のエネルギーから地質を判定する技術と、GNSS等による測位ガイダンス技術を融合した穿孔エネルギー評価法（T-iBlast DAM）を岩級判定に活用。
■穿孔作業を細かい間隔でおこない、穿孔エネルギーから、あらかじめ設定した良材と廃棄材の閾値により、掘削ベンチ内部の地質を3Dモデルで見える化。これにより事前に堤体材料としての品質を満足しない廃棄岩の量を把握し、原石山から効率的に堤体材料を採取することによりコスト縮減を実現。



成瀬ダムの原石山



削孔中のクローラドリル



クローラドリルの操縦席

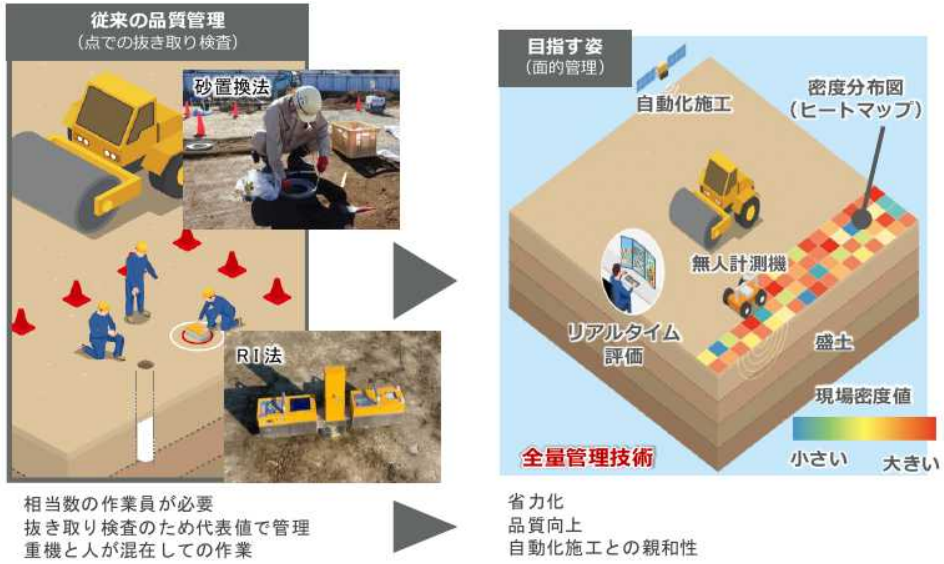


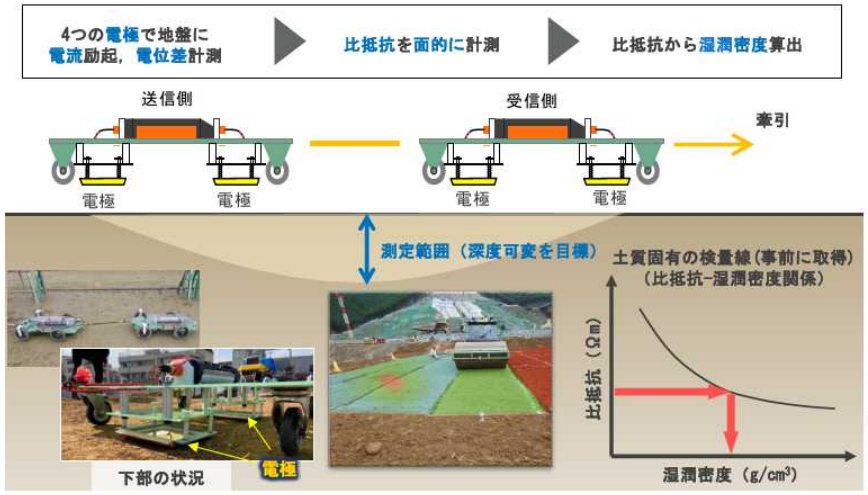

GNSS等による削孔深度と岩盤の硬度がモニタに表示

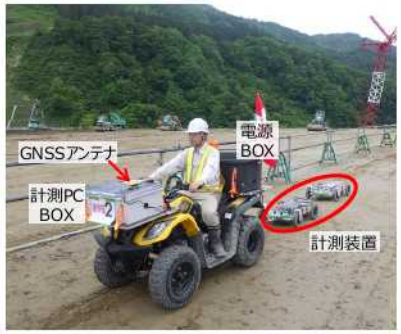
# 【DX】締固め品質の面的計測（比抵抗）

Naruse Dam

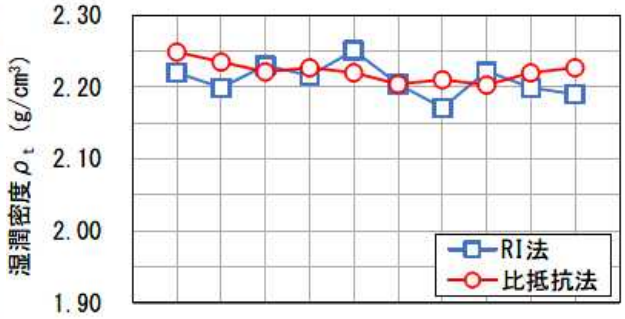
■成瀬ダムでは、堤体を構成するCSG材の密度管理は砂置換法とＲＩ法により行っていた。
■ＲＩ法は、「相当数の作業員が必用」、「抜き取り検査のため代表値で管理」、「重機と人が混在した作業」が課題であった。
■比抵抗による密度管理を採用し、従来の抜き取り確認に対して連続監視が可能となるとともに、品質管理の高速化を可能とした。



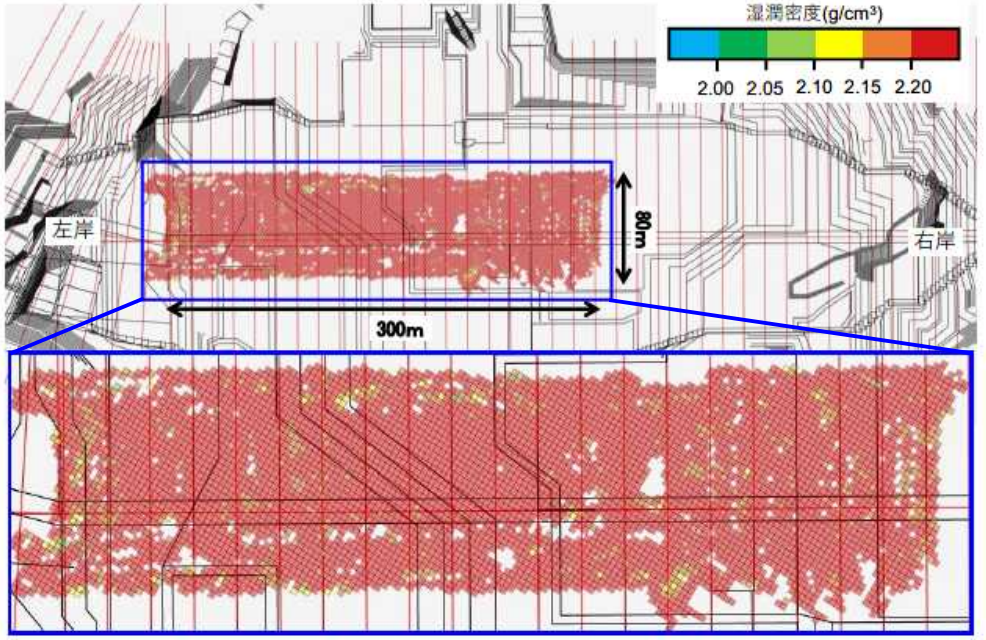




比抵抗による密度管理の
計測状況




湿潤密度の比較



# 【DX】ドローンによる3次元モデルとCIMモデルで工事進捗を可視化

Naruse Dam

■成瀬ダム原石山採取工事では、ドローンによる3次元点群データと同時に撮影した空撮写真を貼り合わせて生成した3次元モデルとCIMモデルを重ね合わせ進捗を確認。
■ドローンが記録したデータは、クラウドサーバに保存。自動で3次元モデルに変換。（夕方のデータが翌朝には3次元モデル化）
■岩種毎の出来形数量も自動算出可能であり、現場の進捗管理や数量計算にかかる時間的コストを大幅に縮減。

## これまでの進捗管理、数量計算書作成

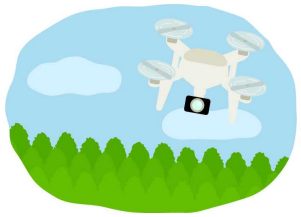


測 量



資 料 作 成

## 成瀬ダム原石採取工事では



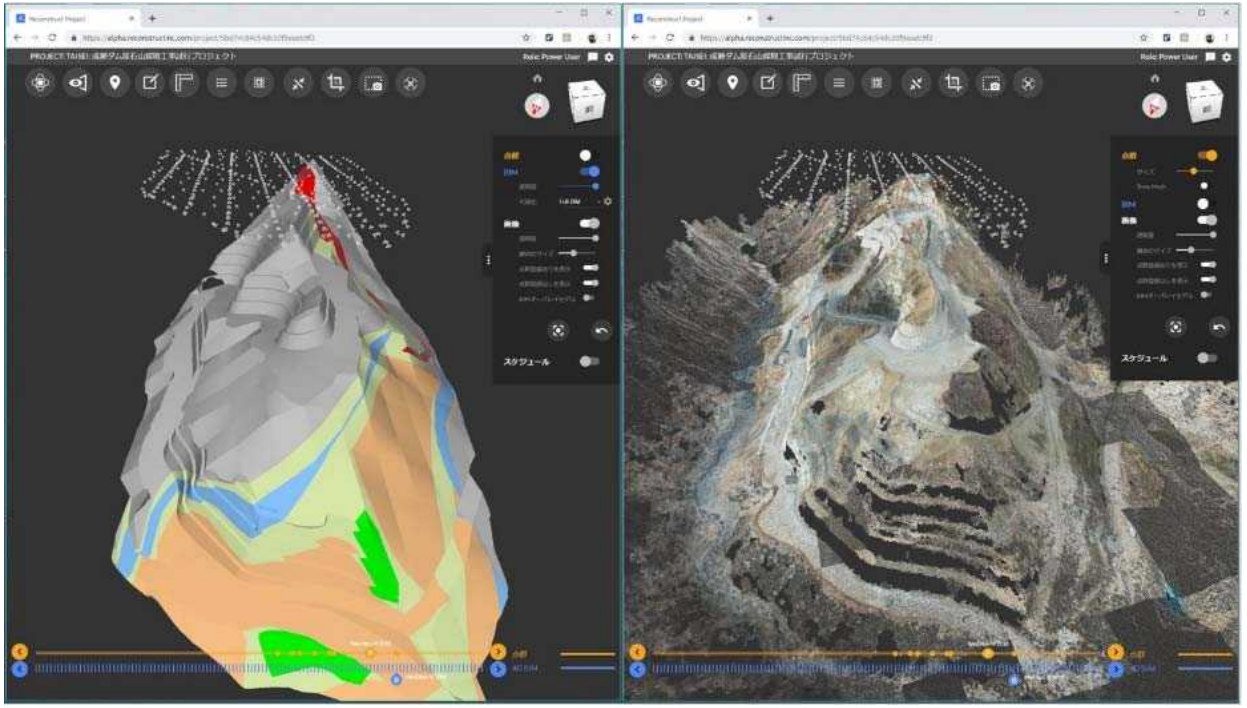
ドローン測量



クラウドサーバ




現場の進捗管理や数量計算書作成等を効率化



ドローン測量により作成した3次元モデルとCIMモデルを組み合わせて工事進捗を「可視化」

# 【DX】ビデオオンデマンド化による生産性向上（試行）

Naruse Dam

■基礎処理のボーリングの検尺については、特記仕様書の段階確認において削孔完了時に削孔長の検測を行うことが規定されており、これまでは監督職員が（遠隔を含む）臨場確認を実施。
■成瀬ダムにおける基礎処理のボーリング本数は約4,600本、延長は約152,000mと膨大であり、かつ、ボーリングの検尺は、ロッド引き抜きを監視し、その後、延長を確認することから確認そのものに時間を要する。（1日複数回の立会を行う場合も）また、少ない人員で監督業務を担当しているため監督職員の都合によっては、現場で「待ち」が発生、円滑な工事進捗に影響を与える可能性がある。
■監督職員の検尺に要する時間（移動、引き抜き）を短縮するとともに、臨場検査等による現場（受注者）の「待ち」を最小化するため、立会検査、遠隔臨場に加え、業務の効率化のためビデオオンデマンドによる確認も可能とすることとした。（受発注者双方の業務効率化）
■引き続き、展開可能な工種を検討し、成瀬ダム建設事業全体の生産性を向上に努める。

## ■ 従来の立会検査

監督職員は往復の移動時間と立会時間を要し、受注者は待機時間と立会時間を要していた。

| | | 工　程 | | | | | 時間的コスト |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 立会検査 | 監督職員 | － | 別業務 | 移動（60分） | 引き抜き立会（60分） | 移動（60分） | 180 分 |
| | 受注者 | 削孔 | 待機（α） | 待機（60分） | | 注入 | 120+α 分 |

## ■ 遠隔臨場[STEP1]

監督職員の移動時間が不要になり、受注者の待機時間が短縮された。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 遠隔臨場 | 監督職員 | － | 別業務 | 引き抜き立会（60分） | － | － | 60 分 |
| | 受注者 | 削孔 | 待機（α） | | 注入 | 削孔 | 60+α 分 |

## ■ ビデオオンデマンド(VOD)[STEP2]

監督職員は時間の制約なく確認ができ、受注者はロッドの引き抜き撮影のみとなり、次の作業に着手が可能となった。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビデオオンデマンド（VOD） | 監督職員 | － | 別業務 | 空き時間に確認（倍速等を活用） | | | 15 分 |
| | 受注者 | 削孔 | 引き抜き撮影（60分） | 注入 | 削孔 | 引き抜き撮影（60分） | 60 分 |

## ■ 従来の立会検査（イメージ）




## ■ 遠隔臨場（イメージ）




## ■ ビデオオンデマンド(VOD)（イメージ）



# 環境保全のとりくみ

Naruse Dam

■成瀬ダムでは、周辺の良好な自然環境と共存するダムづくりを推進するため、成瀬ダム周辺の環境影響について環境影響評価を行い、工事に当たっては、環境保全対策等の検討内容に沿って周辺の自然環境に配慮し事業を進めています。また、試験湛水を令和8年度から実施予定であることから、ダム完成前後の水質や生物等のモニタリング調査計画の作成及び調査を行っています。
■具体的な調査や保全対策の実施に際しては、個別分野毎に専門の有識者からの指導・助言を得ながら環境保全の検討・対策を行っています。
■本年度の環境モニタリング結果や次年度以降の調査、保全計画等について助言を得るため、「成瀬ダムに係るイヌワシ・クマタカ調査委員会」、「成瀬ダムモニタリング部会」を開催し、ご意見をいただきながら事業を進めています。
■イヌワシ・クマタカ調査委員会において、委員から「令和6年度の工事による繁殖活動への影響はなかったと判断される」とのご意見をいただきました。
■モニタリング部会において、委員からご審議いただき、本年度のモニタリング調査結果と次年度のモニタリング調査計画に了承いただきました。

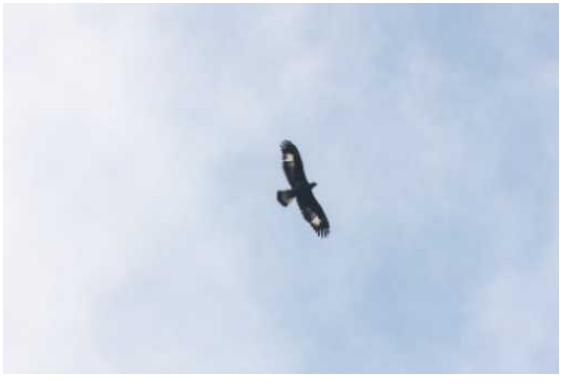
ナベクラザゼンソウ



クマタカ



イヌワシ



ヒメシジミ



サクラマス（ヤマメ）



モニタリング部会



イヌワシ・クマタカ調査委員会



# 成瀬ダムにおけるカーボンニュートラルのとりくみ

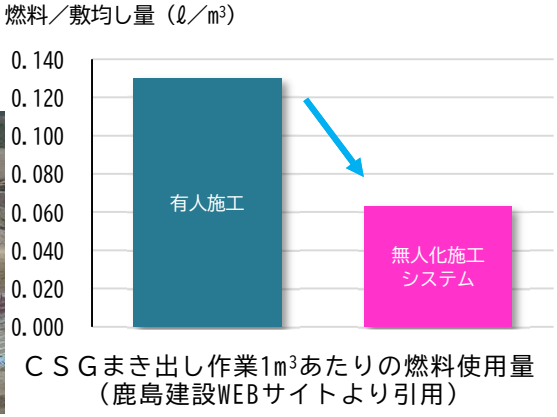
Naruse Dam

■成瀬ダムは、建設段階と維持管理段階のトータルでカーボンニュートラルを目指しています。
■建設段階においては、材料・機械・施工方法をトータルで改善しCO2排出を削減。
■維持管理段階においては、管理庁舎等にLED照明を使用するなど省エネルギー化を推進しCO2排出を削減。更に、水力発電（秋田県）により再生可能エネルギーを創出し、事業全体でカーボンニュートラルを目指します。

## 自動化施工システムによる$CO_2$抑制【建設】

■施工者が導入した自動化施工システムにより、施工の各段階の効率化が図られ、単位時間あたりの打設量の増大、建設機械の走行距離が短縮が可能。これにより燃料使用量の減少＝$CO_2$排出量を抑制しています。



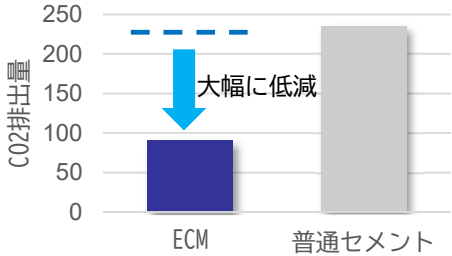

ＣＳＧまき出し作業1m³あたりの燃料使用量
（鹿島建設WEBサイトより引用）

## ECMコンクリートの適用【建設】

■成瀬ダムの堤体コンクリートの一部にECM(Energy $CO_2$ Minimum)コンクリートを採用しています。
■ECMコンクリートは一般的なコンクリートに比べ製造時の$CO_2$排出量を大幅に低減するコンクリートです。



ECMコンクリート打設の様子




製造時のCO2排出量
（鹿島建設WEBサイトより引用）

## $CO_2$を固定化したコンクリート側溝の試用【建設】

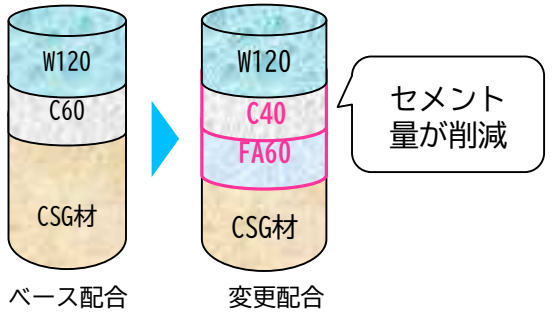
■グリーンイノベーション基金（ＧＩ基金）事業において開発したセメント製造段階の$CO_2$を削減するカーボンリサイクルセメントを利用した側溝を設置。従来のコンクリート製品と同等の強度や耐久性等を確認しています。





## JIS規格外フライアッシュの活用【建設】

■成瀬ダムの堤体に使用されるCSGにおいて、最上部2リフトにJIS規格外フライアッシュを添加して打設を行いました。
■単位セメント量及びCSG材料を減らすことができ、成瀬ダムのコスト縮減と廃棄物の有効活用を両立しています。



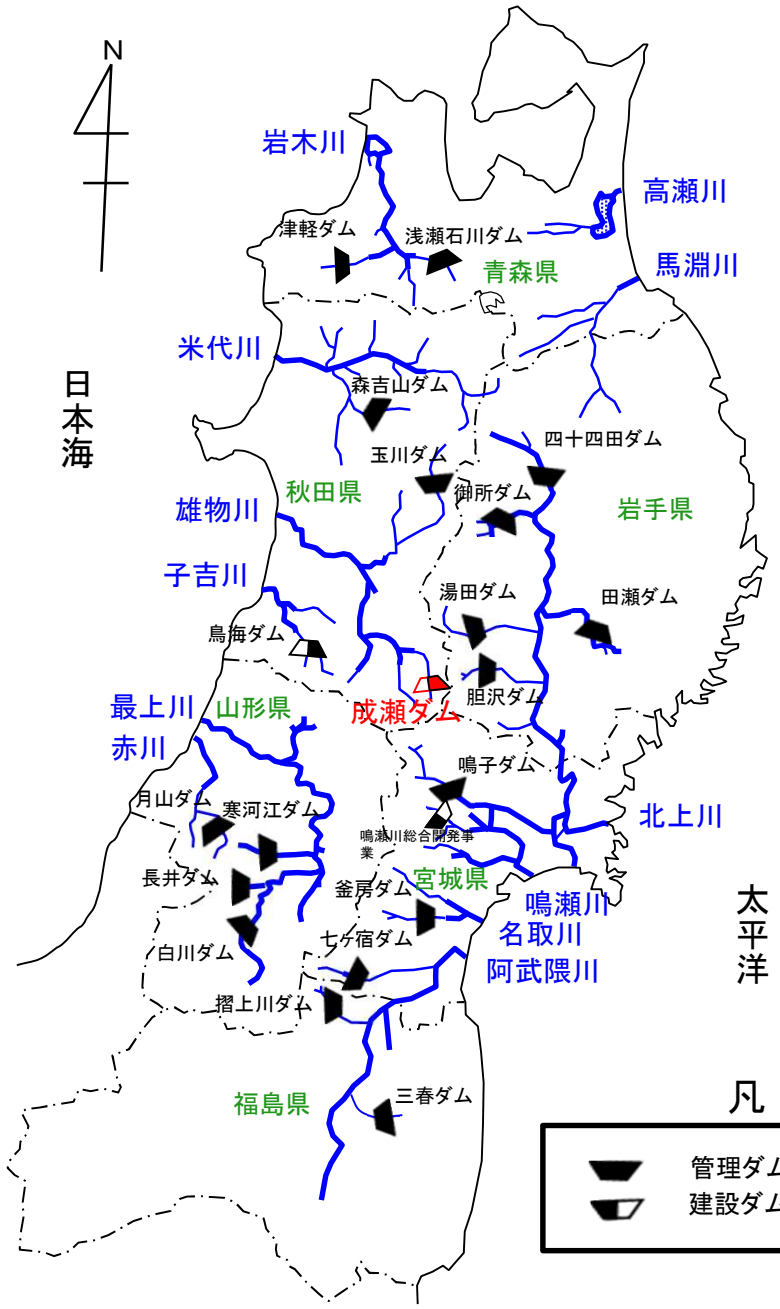

配合のイメージ



JIS規格外フライアッシュを配合したCSG

# 【参考】ダムの諸元比較（東北管内直轄ダム）

Naruse Dam




凡　例

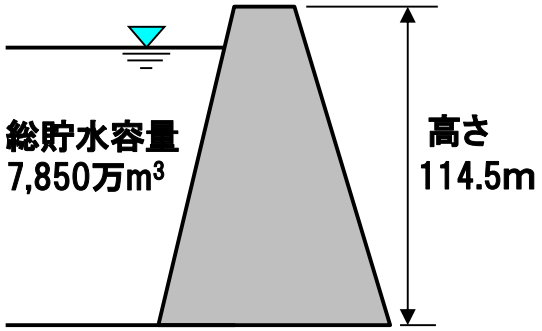
| | | |
|---|---|---|
| ■ | 管理ダム | 18ダム |
| ■ | 建設ダム | 3ダム |

## 高さ　ベスト10　（m）

| 順位 | ダム名 | 高さ | 所在地 | 完成年度 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 胆沢ダム | 127.0 | 岩手県 | H25 |
| 2 | 長井ダム | 125.5 | 山形県 | H23 |
| 3 | 月山ダム | 123.0 | 山形県 | H13 |
| 4 | 成瀬ダム | 114.5 | 秋田県 | 事業中 |
| 5 | 寒河江ダム | 112.0 | 山形県 | H2 |
| 6 | 鳴瀬川ダム | 107.5 | 宮城県 | 事業中 |
| 7 | 摺上川ダム | 105.0 | 福島県 | H17 |
| 8 | 玉川ダム | 100.0 | 秋田県 | H2 |
| 9 | 津軽ダム | 97.2 | 青森県 | H28 |
| 10 | 鳴子ダム | 94.5 | 宮城県 | S32 |

## 総貯水容量　ベスト10　（千m³）

| 順位 | ダム名 | 総貯水容量 | 所在地 | 完成年度 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 玉川ダム | 254,000 | 秋田県 | H2 |
| 2 | 摺上川ダム | 153,000 | 福島県 | H17 |
| 3 | 田瀬ダム | 146,500 | 岩手県 | S29 |
| 4 | 胆沢ダム | 143,000 | 岩手県 | H25 |
| 5 | 津軽ダム | 140,900 | 青森県 | H28 |
| 6 | 湯田ダム | 114,160 | 岩手県 | S40 |
| 7 | 寒河江ダム | 109,000 | 山形県 | H2 |
| 8 | 七ヶ宿ダム | 109,000 | 宮城県 | H3 |
| 9 | 成瀬ダム | 78,500 | 秋田県 | 事業中 |
| 10 | 森吉山ダム | 78,100 | 秋田県 | H23 |




成瀬ダム

# 【参考】ダムの諸元比較（台形CSGダム）

Naruse Dam

## 高さランキング

| 順位 | ダム名 | 堤高（m） | 所在地 | 竣工年 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 成瀬ダム | 114.5 | 秋田県 | 事業中 |
| 2 | 鳴瀬川ダム | 107.5 | 宮城県 | 事業中 |
| 3 | 鳥海ダム | 81.0 | 秋田県 | 事業中 |
| 4 | 本明川ダム | 55.5 | 長崎県 | 事業中 |
| 5 | 三笠ぽんべつダム | 53.0 | 北海道 | 事業中 |
| 6 | 当別ダム | 52.0 | 北海道 | H24 |
| 7 | 厚幌ダム | 47.2 | 北海道 | H30 |
| 8 | サンルダム | 46.0 | 北海道 | H30 |
| 9 | 金武ダム | 39.0 | 沖縄県 | H25 |

## 堤頂長ランキング

| 順位 | ダム名 | 堤頂長（m） | 所在地 | 竣工年 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 成瀬ダム | 755.0 | 秋田県 | 事業中 |
| 2 | 厚幌ダム | 516.0 | 北海道 | H30 |
| 3 | 金武ダム | 461.5 | 沖縄県 | H25 |
| 4 | 当別ダム | 432.0 | 北海道 | H24 |
| 5 | 鳥海ダム | 365.0 | 秋田県 | 事業中 |
| 6 | 鳴瀬川ダム | 358.0 | 宮城県 | 事業中 |
| 7 | サンルダム | 350.0 | 北海道 | H30 |
| 8 | 本明川ダム | 340.0 | 長崎県 | 事業中 |
| 9 | 三笠ぽんべつダム | 160.0 | 北海道 | 事業中 |

## 堤体積ランキング

| 順位 | ダム名 | 堤体積（m3） | 所在地 | 竣工年 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 成瀬ダム | 4,850,000 | 秋田県 | 事業中 |
| 2 | 鳴瀬川ダム | 1,644,000 | 宮城県 | 事業中 |
| 3 | 鳥海ダム | 1,331,000 | 秋田県 | 事業中 |
| 4 | 当別ダム | 813,000 | 北海道 | H24 |
| 5 | 本明川ダム | 530,000 | 長崎県 | 事業中 |
| 6 | サンルダム | 495,000 | 北海道 | H30 |
| 7 | 厚幌ダム | 490,000 | 北海道 | H30 |
| 8 | 金武ダム | 339,000 | 沖縄県 | H25 |
| 9 | 三笠ぽんべつダム | 214,000 | 北海道 | 事業中 |

## 総貯水容量ランキング

| 順位 | ダム名 | 総貯水容量（千m3） | 所在地 | 竣工年 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 成瀬ダム | 78,500 | 秋田県 | 事業中 |
| 2 | 当別ダム | 74,500 | 北海道 | H24 |
| 3 | サンルダム | 57,200 | 北海道 | H30 |
| 4 | 厚幌ダム | 47,400 | 北海道 | H30 |
| 5 | 鳥海ダム | 46,800 | 秋田県 | 事業中 |
| 6 | 鳴瀬川ダム | 45,600 | 宮城県 | 事業中 |
| 7 | 三笠ぽんべつダム | 8,620 | 北海道 | 事業中 |
| 8 | 金武ダム | 8,560 | 沖縄県 | H25 |
| 9 | 本明川ダム | 6,200 | 長崎県 | 事業中 |

WEBサイト　X　Facebook　YouTube



※自動化施工によるCSGの打設状況　（令和5年10月頃）

国土交通省　東北地方整備局
# 成瀬ダム工事事務所
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字宮田97-1
TEL:0182-23-8450（代表）